

2024年12月10日
沖縄都市モノレール株式会社

軌道事業の旅客運賃上限変更認可について

沖縄都市モノレール株式会社は、2024年10月11日(金)に沖縄総合事務局長宛てに軌道事業の旅客運賃上限変更認可申請を行いました。本日、沖縄総合事務局長より認可されました。

つきましては、下記の内容により、運賃改定の実施を予定しておりますので、お知らせいたします。

記

1. 認可日 2024年12月10日(火)

2. 実施予定日 2025年2月1日(土)

3. 改定・現行運賃比較表

①普通旅客運賃(大人) ※()は小児運賃

区数	キロ程	現行運賃	実施予定運賃	改定率(%)
1区	0km ~ 3kmまで	230円(120円)	250円(130円)	8.7(8.3)
2区	3km超え~ 6kmまで	270円(140円)	290円(150円)	7.4(7.1)
3区	6km超え~ 9kmまで	300円(150円)	320円(160円)	6.7(6.7)
4区	9km超え~ 3kmまで	340円(170円)	360円(180円)	5.9(5.9)
5区	13km超え~17kmまで	370円(190円)	390円(200円)	5.4(5.3)

②通勤定期旅客運賃(大人/1ヵ月)

区数	キロ程	現行運賃	実施予定運賃	改定率(%)
1区	0km ~ 3kmまで	8,580円	現行どおり	0.0
2区	3km超え~ 6kmまで	10,140円		
3区	6km超え~ 9kmまで	11,310円		
4区	9km超え~ 3kmまで	12,480円		
5区	13km超え~17kmまで	13,770円		

③通学定期旅客運賃(大人/1 ヶ月)

区数	キロ程	現行運賃	実施予定運賃	改定率(%)
1区	0km ~ 3kmまで	5,530円	現行どおり	0.0
2区	3km超え~ 6kmまで	6,540円		
3区	6km超え~ 9kmまで	7,290円		
4区	9km超え~ 3kmまで	8,050円		
5区	13km超え~17kmまで	8,880円		

注1) 上記②、③の定期旅客運賃については、家計負担を考慮し、据え置き。

注2) 定期旅客運賃 1 ヶ月の平均割引率は、以下のとおり。

	現行平均割引率	申請平均割引率
通勤定期旅客運賃	38%	42%
通学定期旅客運賃	60%	62%

4. 改定率・増収率一覧

		改定率	増収率
定期外		6.8%	7.4%
定期	通勤	0.0%	0.0%
	通学	0.0%	0.0%
合計		2.0%	6.2%

5. 収支実績及び推定

(単位:千円)

項目	2023年度	2025~2027年度 (3年間合計)	
	(実績)	現行	申請
収入	4,386,337	14,269,726	15,109,481
支出	4,140,834	15,620,187	15,611,473
差引損益	245,503	▲1,350,461	▲501,992
収支率	105.9%	91.4%	96.8%

※2023年度実績については、特別損益計上前の数値となります。そのため、特別損益計上後の純損益では収支率 99.6%となります。

6. 運賃収入内訳

(単位:千円)

項目	2023 年度	2025~2027 年度 (3 年間合計)	
	(実績)	現行	申請
定期外	3,447,851	11,321,480	12,161,235
定期	675,447	2,166,497	2,166,497
合計	4,123,298	13,487,977	14,327,732

7. 輸送人員の推移と今後の見通し

(単位:千人)

実績	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
定期外	15,908	7,512	7,882	12,398	14,877
定期	3,848	3,424	3,893	4,511	5,071
合計	19,757	10,936	11,776	16,909	19,948
前年比	103.7%	55.3%	107.7%	143.6%	118.0%

将来推定	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
定期外	15,189	15,518	15,847	16,330
定期	5,496	5,615	5,734	5,909
合計	20,685	21,133	21,581	22,239
前年比	103.7%	102.2%	102.2%	103.0%

8. 設備投資の実績と今後の計画

(1)設備投資の実績と計画

(単位:百万円)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度
	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)	(計画)	(計画)	(計画)
安全対策	70	11	90	369	635	942	1,188
サービス改善等	6	93	130	1,483	343	300	195
合計	76	104	220	1,852	978	1,242	1,384

(2)内容

公共交通機関としてのサービスを安定的に継続していくためには、軌道施設の老朽化に伴う設備更新、維持修繕などは必須であり、今後も計画的に設備投資を実施してまいります。また運賃改定の実施に伴い、お客様へのサービス向上、利便性向上等を図るため、あわせて各種施策も推進してまいります。

① 安全対策(2024~2027年度 投資額 約 31 億円)

- ・工作車(点検車両)の新造
- ・消防設備の更新
- ・車両機器の更新
- ・信号保安設備の更新
- ・ホーム監視モニター設置工事 等

②サービス改善等(2024~2027年度 投資額 約 23 億円)

- ・クレジット決済改札機の導入
- ・全券売機全国共通交通系 IC カード対応機への更新
- ・自動改札機の更新
- ・駅務機器サーバーの更新
- ・駅舎トイレの改修工事 等

9. これまでの経営合理化の状況および今後の取組み

弊社はこれまで、お客様の利用状況にあわせ、運行面においては、多客時期の臨時ダイヤ運行、3 両編成導入による輸送力増強及びてだこ浦西駅始発列車の繰り上げ等の他、営業面においても、全国共通交通系 IC カード及び各種デジタルチケットのサービス導入、自動精算機及び自動改札機の増設等にも取り組み、お客様へのサービス及び利便性の向上を図ってまいりました。

また、コストダウンを図るため、現行の運行ダイヤを維持しつつ、保有車両数の削減による維持コストの抑制、巡回駅システム導入による配置人員の削減、DX 推進による業務の効率化及び外注業務の内製化等も実施してまいりました。

しかしながら、軌道設備の老朽化に対する更新、安全・安定運行のための修繕、要員確保等、経費が膨らむことは避けられない状況となっており、これまでも関係機関による借入元金の返済負担軽減措置を実施して頂く等、経営安定化に努めてまいりました。

弊社としましては、今後も、モノレール事業を健全に運営し、社会的責任を果たしていくため、安全・安定輸送の確保並びに各種施策の推進を図り、経営改善に努めてまいります。

10. 主な運賃の多様化の内容

弊社をご利用頂くお客様へのサービス及び利便性向上を図るため、様々な企画乗車券を発売しております。

①24 時間及び 48 時間ご利用可能の乗り放題券

→お客様の利用内容にあわせて、24 時間又は 48 時間、ご利用可能な乗り放題券を販売しております。

②OKICA 利用者への 1 駅区間運賃の設定

→OKICA 利用で 1 駅区間を移動されるお客様は初乗り運賃が軽減されます。

③那覇バス&ゆいレール バスモノパス

→那覇バス株式会社の運行する那覇市内区間バスとゆいレールの乗り放題券を販売しております。

④デジタルチケットによる終日乗り放題券及びオフピーク乗り放題券

→デジタルチケットにて、お客様の利用内容にあわせて、終日、お昼の時間帯のみ、ご利用可能な乗り放題券を販売しております。

⑤各種施設とのデジタルチケットによるタイアップ乗り放題券

→美ら海水族館や首里城公園などの入館券等とセットになった乗り放題券を販売しております。

11. お客様サービスの向上策

(1) サービス並びに利便性の向上

お客様の利便性向上並びにラッシュ時の混雑解消を図るため、ダイヤ改正を計画しております。また今般の様々な運賃決済手段にあわせ、クレジット決済改札機導入及び全券売機を全国共通交通系 IC カード対応機への更新も計画的に実施してまいります。

(2) 軌道設備など老朽化に伴う更新

経年により老朽化する車両及び軌道設備(駅・信号機器・変電所等)について、計画的な維持・修繕を実施し、公共交通機関としてのサービスを安全・安定的に継続してまいります。

(3) 異常時対応の強化

お客様が安心してご利用頂けるよう、防犯の観点から、新車両への管理カメラの設置、ホームカメラの増設等を計画的に進めていくとともに、警察・消防等と連携した異常時訓練を実施、お客様の安全確保を最優先とし、異常時対応と早期復旧を可能とする体制を引き続き強化してまいります。

12. お問い合わせ先

沖縄都市モノレール株式会社 営業部 営業統括課 西崎・安里

TEL098-859-2689 (平日 9~17 時)

※各表記載の数値について、端数処理のため、各項目の計と合計が一致しない場合がございます。

以上